





梅沢

寂猪寺こそあま  
あつたのう  
申に於て我の

申村とてあ

芳家の秋成

時宗見守の

たつこ

しそ

今う小ゆうの

のの

佐

と



門 3  
號 3657  
卷 3

都司大衛

箱根山

こころ山

尾乃

釜

二

滝

世

御園所



北宿町

二橋の

本分

小田原

お

山

園

甲



三島

伊豆の根

ちんちん

いりのおやうれ

おはむら

八百万代

あかりりじ

三嶋大明神

けの家のまをねまに  
おんまをこまとして  
細い川をのろの  
おれまのうらま  
大さるる極をよまに



けの家のまをねまに

おんまをこまとして

細い川をのろの

おれまのうらま

大さるる極をよまに



千代ん種

浮嶋原

東海

枯野

風

神

あはれ

あはれ

あはれ



足柄山

ゆいん

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



富士山 不二山

人皇七代 孝靈天皇  
 天保元年 初て一峰あり  
 桶物とてとるを山とす  
 社ハ平城天皇大岡  
 元ノ小達を儀りて  
 明徹の靈然あり  
 乃て之を山とす  
 のわけはそねん  
 空海法師もいひて  
 仙傳と別みよあざれ  
 一も多し 後頂ハ洞乃  
 びくしとす  
 八景より 西天唐土杖桑  
 るびるも二國邊一の  
 高み 神古のゆも多し

ぬれ山  
 春の雪けの  
 雲を  
 すきり  
 秋の  
 風



依りて 稱るへ 後漢の  
 河 蓋王のすこい  
 足とて 道穴 後漢  
 を 洞乃  
 一も多し 後頂ハ洞乃  
 びくしとす  
 八景より 西天唐土杖桑  
 るびるも二國邊一の  
 高み 神古のゆも多し

時  
 ぬ  
 の  
 ね  
 い  
 け  
 ぬ  
 子  
 ね  
 ね  
 ね



富士川

かえりて

ゆりか

まのた

かど門

いさる

あしあ

すまの

あしあ



あで  
田子れ浦

ねつせ  
仲は風

あしあ

あしあ

あまの

あしあ

あしあ

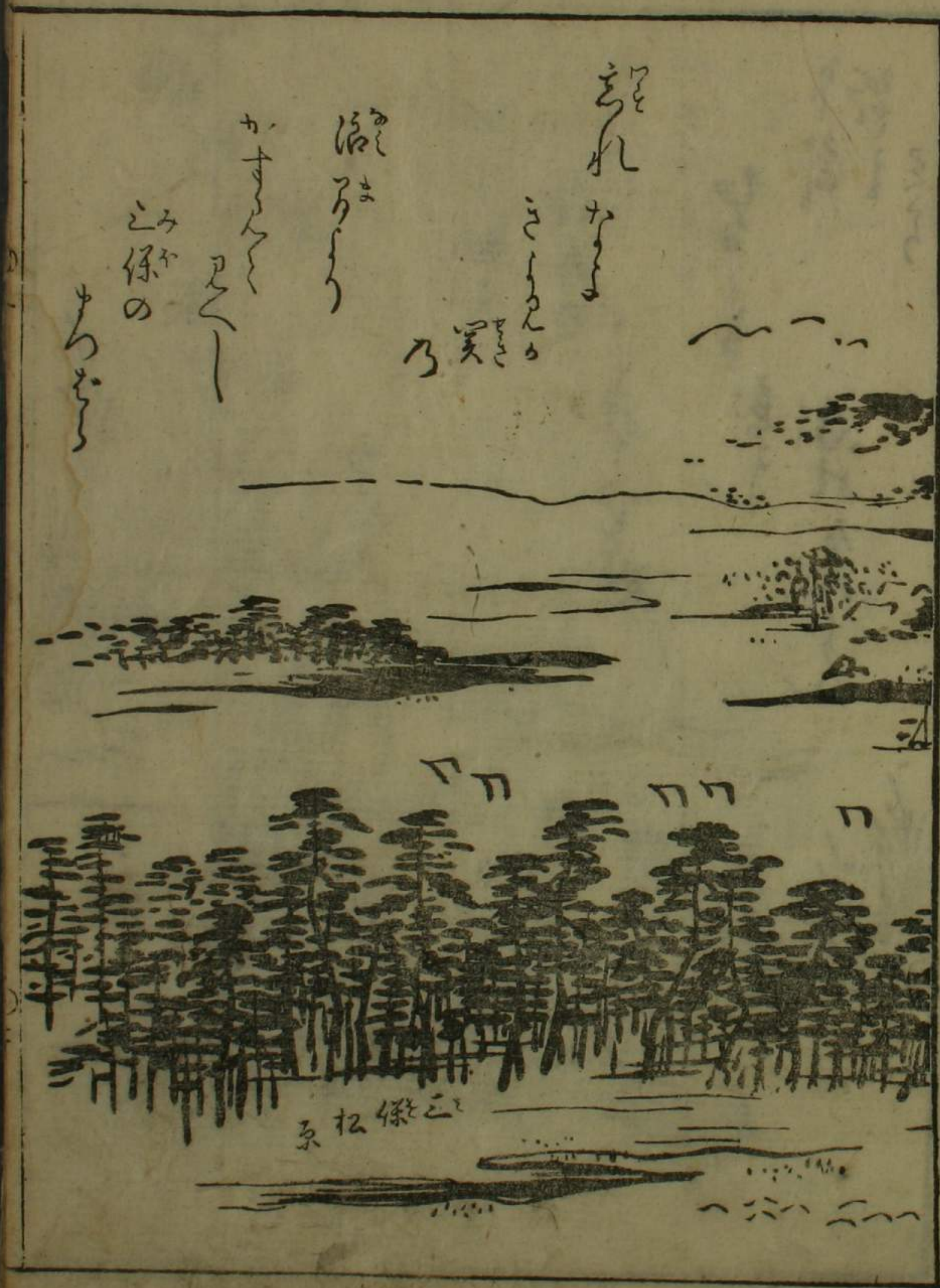
あしあ

あしあ

あしあ

あしあ





松の  
 影  
 水  
 流  
 け  
 乃  
 美

系松係



閑見清

清見寺

清見寺  
 乃  
 美

〇三

〇六







今知これと  
 かしみの  
 けり  
 志河橋  
 山



すが  
 府中  
 本橋の  
 舟  
 消  
 人  
 舟と  
 の  
 舟

御  
 城



大井川

大井川の流

大川のみさぎ

と法山にや

みさぎ合平生

にそりて浪

あわくたは

ぶあられて

り下よ

たや

そり



あは

ちりりて

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら

はら



おくまの  
ふる野  
今谷と  
新川の  
あまの

おの  
おの

おの

おの

おの

おの



新谷と新川

